

浦添小学校で実施しました！



A man wearing a white bucket hat with a rainbow band and a green vest is interacting with a group of children in a classroom. The children are wearing face masks. The man is leaning over, and the children are looking up at him.

ホンモノの路線バスに
乗って、みんな大興奮！

児童が実際に車イスに乗り、運転手が用意したスロープを利用して車内に乗り込んだり、運転席に座るなどの体験も。

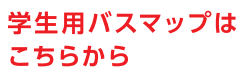
車体の前方は運転席から死角になり、児童たちは「だからバスのすぐそばを歩いたり、飛び出したりしたらあぶないんだね」と納得。じゅんやくんと参加したお父さんは「バスの乗り方や運転席からの死角など、親子で体験することができてになりました」とコメント。

乗り方教室はこれまでにもバス党やバス会社によって、宜野湾小学校などの学校をはじめ、障がい者や医療関連の施設、企業向けに実施されてきました。誰でも安心して快適にバスを利用してもらうよう、今後はさらに活動を広げて継続していく予定です。

「わった〜バス党による『バスの乗り方教室』に興味のある学校はこちらへお問い合わせください。」

沖縄県交通政策課

マップを見れば便利さが一目瞭然！
バス通学はお父さん・お母さんの送迎の負担が減り、渋滞緩和にもつながりますよ。



Thanks Award 2022

党員企業は現在96社（R5年2月現在）。3月

今年度入党の新しい法入党員

社員の公共交通利用で、那覇市内の渋滞や環境対策の一環になることから入党。空港での駐車場混雑緩和に向け、公共交通の利用を呼び掛けています。

本社移転に伴い、本社勤務社員の7割以上が公共交通機関使用に。CO₂削減に取り組む航空会社として、通勤にも着目し入党。

公共交通の利用を推奨し、バスレーン時間を避けた時差出勤を実施。社員の90%が公共交通での通勤を行う。バス党の取り組みに賛同して入党。

Thanks Award 2022 表彰企業

マイカー通勤の制限と交通費の全額支給を実施し、社員（20名）の9割以上が公共交通等で通勤。業務でも公共交通利用促進事業に関わっています。

交通費の全額支給を実施し、社員（140名）の9割以上が公共交通等で通勤。入党後、新たに10名の社員が公共交通通勤に転換しました。

SDGsと関連づけて利用促進を呼びかけ、支援ツールを積極的に活用。取引先にも法人黨員への加入を働きかけ、実際に5社が入社しました。



はじめよう!“バスDGs”

公共交通を利用することでSDGsの実現に貢献できます。

SDGsは誰ひとり取り残さない社会に向けた「17の持続可能な開発目標」のこと。マイカーの代わりに路線バスやモノレールを利用することも、SDGsの実現につながる取り組みなんです。

このことを広く知ってもらい、実践してもらおうというのが、わたた～バス党が考える「“バスDGs”宣言」です。公共交通の維持や交通渋滞の緩和のみならず、CO₂排出量の削減やウチナンチュの健康問題の解決にも有効な“バスDGs”で、持続可能な明るい未来へ、出発進行!!

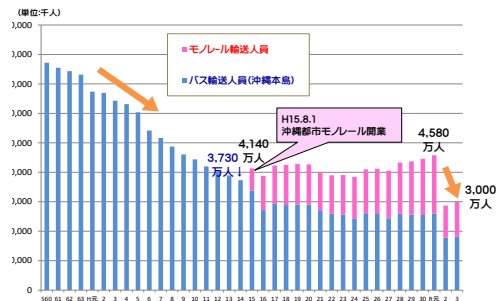


「バスはみんなにやさしい」 ～公共交通をみんなで守ろう!支えよう!

Point 1



公共交通の利用者が減っています。高齢者・子どもなどの交通弱者を含めて誰でも自由に移動できる持続可能な都市のため、過度なマイカー依存からシフトチェンジ。



出典:沖縄総合事務局運輸部「運輸要覧」、沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況」

「バスは地球にやさしい」 ～バス移動でCO₂排出量を削減しよう!

Point 2



マイカー利用によるCO₂排出量はバスのおよそ2.5倍! バスを利用することでCO₂の削減につながります。地球温暖化を抑制してサンゴなどの沖縄の貴重な自然環境を守ろう。



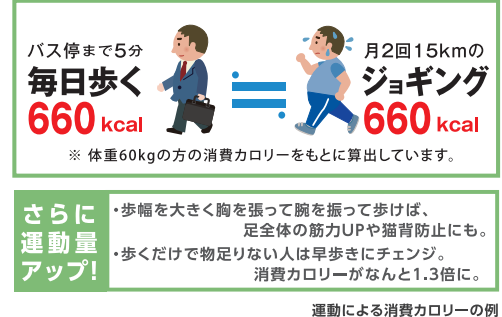
出典:温室効果ガスインベントリオフィス「日本の温室効果ガス排出量データ」、国土交通省「自動車輸送統計」・「内航船舶輸送統計」・「鉄道輸送統計」、内閣府沖縄総合事務局「沖縄の公共交通施策立案等に資するデータ収集と一元化に関する調査及びSDGs実現に向けての公共交通利用促進調査業務報告書」

「バスはカラダにやさしい」 ～「公共交通+歩く」で健康をめざそう!

Point 3



マイカー依存で“歩かない”といわれる沖縄県民。毎日、バス停まで歩くことで健康維持!&脱メタボ!



新生活! はじめよう! 最初の一步!

TRY1 まずは 1か月に1回、バスにしよう!



TRY2 お酒を飲む日は、バスに乗ろう!



TRY3 オフの日はバスに乗ろう。休日はバスがお得!



新生活でバス通学・通勤
まずはルート・時間・運賃をチェック

春は、入学・進学、就職・転職など、生活が変わるタイミング。イイコトたくさん、バス通勤・バス通学を始めてみませんか。

まずは公共交通での通勤・通学ルート、時間、運賃をチェック!



動画で、すぐわかる
基幹バスとは?

<< コチラからアクセス

沖縄県の交通渋滞の緩和のためには、一度に多くの人が移動できるバスに乗ってもらう必要があります。そこで、沖縄のバスはさらなる進化のため「基幹バスシステム」の導入を予定しています。

「基幹バスシステム」とは、長距離移動を木の幹のような「基幹バス」、短距離移動を木の枝のような「支線バス」に分けて運行し、シンプルでわかりやすい移動をめざします。

また、バスレーンや信号システム、乗降方法の変更やIC乗車券による精算を推進して移動時間を短縮し、那覇・コザ間は最短48分間で移動できるようになる見込みです。

基幹バスは等間隔で頻繁に運行するので、待ち時間を気にせず利用できます。バス停には、屋根や照明、電光掲示板も設置されてわかりやすく安心。基幹バスから支線バスへの乗り継ぎだけでなく、クルマや自転車などへの乗り換えも可能に。バス停や車両もバリアフリー対応ですべての人が快適にスムーズに利用することができそうです。

渋滞緩和やCO₂排出量の削減につながり、行きたい場所へ誰でもスムーズに移動できる毎日ってワクワクしませんか。そのためには県民のみなさんのご理解とご協力が必要です。公共交通を積極的に活用して、人にも環境にもやさしい沖縄の未来を実現しましょう!

シンプルでわかりやすい移動をめざす
「基幹バスシステム」